

令和 7 年度

運営に関する計画



大阪市立香簀小学校

大阪市立香簀小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和 4 年 3 月、新たな「大阪市教育振興基本計画」が策定された。そこでは①「安全・安心な教育の推進」②「未来を切り拓く学力・体力の向上」③「学びを支える教育環境の充実」と 3 つの最重要目標が示された。

①では「社会のルールを理解し自ら律する力、他者を尊重し思いやる心、適切な人間関係を築くコミュニケーション能力、多様性や違いを受け入れる力など、子どもたちの道徳性・社会性の育成に努めます。」とある。学校教育アンケートでは、「あいさつがしっかりとできている。」と肯定的な回答をする児童は 88.4%（前年 95）で、高水準で推移している。「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」と肯定的な回答をする児童は 95.2%（96.1）で、高い数値となっている。本年も児童会が中心となり、あいさつ運動、あいさつボランティアや美化ボランティアなどに取り組み、あいさつの大切さを学び、自己有用感である「人に役立つことの喜び」と自分自身の成長につなげる取り組みをおこない、引き続き道徳性・社会性の育成に努める。また、防災・減災への意識が高まる取り組みとして多様な方々と関わり、命を守る行動がとれるよう継続的に取り組む。

②では国語科を研究教科とし、これまで積み上げてきた活かす学びの充実をさらに図るため、「まなびをつなぐ、課題をつなぐ」をテーマに、読解力向上に向けた取り組みを図る。新学習指導要領国語科に「伝えたいことを明確にする」「構成を考える」とあることから、表現力を伸ばすことを目的とし「自分の考えを深めたり、広げたりすることができる授業づくり」に取り組む。また、今後も家庭学習の定着や児童が主体的に学習に取り組める授業改善に取り組みたい。体力の向上については、かけ足集会やなわとび週間を継続して実施することによって、児童が自主的に運動に親しむ習慣を持つように今後も努める。

③では第 1 に個別最適化したデジタル化への対応や一人一台端末のさらなる活用に取り組む。第 2 に一人あたりの平均時間外勤務時間は減少傾向である。本年も効率的な校務運営に取り組みたい。第 3 に教員の資質向上に向けアップデートを常に意識し、養成段階に身に着けた知識技能だけに捉われず全員が自己研鑽に励む。

令和 7 年度 香簀小学校教育指針で共有したことを常に確認し合い、各課題に対し前向きに取り組む。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 87%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 43%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を昨年度以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・デジタル教材を活用した朝学習を週 3 回実施する。
- ・時間外勤務 45 時間以下の教職員の割合を 97%以上にする。
- ・研究授業・検討会、教員研修会やメンター研修会を開催し、専門的な知識・技能を習得することを目指す。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ・ 小学校学力経年調査におけるいじめアンケートを年間5回取り組み、「あなたはいじめを受けていますか」の項目の答え「はい」といういじめと判断される事案を前年度以下にする。→【R6 4.8%】
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。→【R6 1.35%】
- ・ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」を肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加させる。→【R6 95.2%】

学校の年度目標

- ・ 年度末の校内調査において、あいさつに関する児童の回答肯定的割合を95%を上回るようにする。→【R6 95】
- ・ 年度末の校内調査において、児童会活動を充実させる取り組みを年3回以上行う。
- ・ 年度末の校内調査において、道徳教育についての児童の回答肯定的割合をすべて85%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」を肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。→【R6 95.2%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。→【R6 42】
- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。→【R6 -0.25（どの学年も国語か算数のどちらかの教科は目標を上回ることができたが「どちらの教科もいずれの学年も）は達成できなかった。）】
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合が前年度を上回るようにする。→【R6 70.2】
- ・ 小学校学力経年調査における「理科の授業で観察や実験を行うことは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合が前年度を上回るようにする。→【R6 79.9】

学校の年度目標

- ・ 子どもの発達に応じた健康に関する指導に定期的に取り組む。
- ・ 食に関する指導を各学年2回、給食がんばり週間を年2回実施する。

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の87%にする。【ただし。事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く】→【R6 85】
- ・ デジタル教材を活用した朝学習を週3回実施する。
- ・ 時間外勤務45時間以下の教職員の割合を97%以上にする。→【R6 95】

学校の年度目標

- ・ 研究授業・検討会、教員研修会やメンター研修会を開催し、専門的な知識・技能を習得することを目指す。
- ・ 地域との交流会（年3回以上）の実施、学校HPの充実、オープンスクールなどを通して開かれた学校づくりを推進める。

本年度の自己評価結果の総括

大阪市立香簀小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>大阪市教育局基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <p>①令和6年度小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。→【R6 86.2%】</p> <p>②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。→【R6 1.35%】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>③年度末の校内調査において、あいさつに関する児童の回答肯定的割合を95%を上回るようにする。→【R6 95%】</p> <p>④年度末の校内調査において、児童会活動を充実させる取り組みを年3回以上行う。</p> <p>⑤年度末の校内調査において、道徳教育についての児童の回答肯定的割合をすべて85%以上にする。</p> <p>⑥小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」を肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。→【R6 95.2%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめの早期発見に取り組み、教職員の連携を強化し、児童が安心して学校生活を送ることができるようにする。</p> <p>指標 いじめアンケートを年間5回取り組み、「あなたはいじめを受けていますか」の項目の答え「はい」といういじめと判断される事案を前年度以下にする。→【R6 4.8%】</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>児童の学校生活におけるあいさつへの意識を高め、あいさつをしようとする態度を育てる。</p> <p>指標 学校教育アンケート「あなたはあいさつがしっかりできていますか」の児童回答肯定的割合が89%を上回るようにする。→【R6 88.4%】</p>	
<p>取組内容③④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>児童会活動を充実させ、互いに認め合える集団作りをより目指すとともに、児童が楽しいと感じる学校づくりに努める。</p> <p>指標 学校生活ふりかえりカードにおいて「スマイル班活動では他の学年の友達と協力することができましたか」の児童回答最も肯定的割合を昨年度以上にする。さらに、児童会活動を充実させる取り組みの実施回数は年3回以上を目指す。→【R6 79.8%】</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>児童会活動での奉仕活動（あいさつボランティア、美化ボランティア等）を通して、将来を見据えたキャリア教育を実践する。</p> <p>指標 学校教育アンケートにおける「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して児童回答肯定的割合を96%以上にする。→【R6 95.2%】</p>	

<p>取組内容⑤【基本的な方向２ 豊かな心の育成】</p> <p>週に１度の道徳の授業と全教育活動における道徳教育（道徳科を中心としたカリキュラムマネジメント）の充実を図り、児童の学びに向かう人間性を高める。</p>	
<p>指標 毎学期末に行う道徳に関する児童アンケートにおける「道徳の授業では、お話や友達の意見から学ぶことができましたか」に対する児童回答肯定的割合項目平均を 91%以上にする。→【R6 項目平均：91%】</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

大阪市立香簀小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <p>①小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。→【R6 42】</p> <p>②小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。→【R6 -0.25（どの学年も国語か算数のどちらかの教科は目標を上回ることができたが「どちらの教科もいずれの学年も」は達成できなかった。）】</p> <p>③小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が80%以上にする。→【R6 79.9】</p> <p>④小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を71%以上にする。→【R6 70.2】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>⑤子どもの発達に応じた健康に関する指導に定期的に取り組む。</p> <p>⑥食と健康に関する指導に年2回以上取り組む。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>国語や道徳を中心にICT等を活用しながら主体的で対話的で深い学びを成立させる指導の授業研究に取り組む。</p> <p>指標 授業改善のための計画・立案・実施においてスクールアドバイザー等に年間3回以上指導助言をもらい、授業研究に取り組む。その結果、小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を43%以上にする。→【R6 42】</p>	
<p>取組内容①②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>習熟度別少人数指導などの学習形態を活用し、児童一人ひとりの能力や理解・習熟の程度に応じて、基礎基本の定着を図る学習や発展的な学習を行い、個々の力をそれぞれ伸ばす。</p> <p>指標 専科や習熟度別授業の児童アンケートで「わかりやすくなった」という最も肯定的な回答を前年度より上回るようにする。→【R6 67.1】</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>自然との関わりを大切にし、理科的な見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行い、体験を重視した授業づくりや理科観察実験の充実を図る。</p>	

<p>指標 小学校学力経年調査における「理科の授業で観察や実験を行うことは好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合が前年度を上回るようにする。【R6 79.9】</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>体力低下の回復を急がず、感染拡大防止に努めつつ、体育科の授業時に持久力を高める運動内容を取り入れると共に、体力の向上を図るためにラダー・ミニハードル・ジャンピングボード等運動器具の整備・充実を図る。トップアスリートなどの招聘などを通して、体力向上と運動への意識を高める。</p>	
<p>指標 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を71%以上にする。【R6 70.2】</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健康な生活習慣の確立を図るため、子どもの発達に応じた健康に関する指導を行い、「ほけんだより」を活用して児童および家庭への啓発を行う。</p>	
<p>指標 毎月「ほけんだより」を発行し、月1回せいけつしらべを行う。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>食に関する指導の全体計画に基づき、食に関する指導を行い、「給食だより」「食育通信」を活用して児童や保護者の食への意識を高める。</p>	
<p>指標 食に関する指導を各学年2回、給食がんばり週間を年2回実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立香簗小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <p>① 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 87%にする。【ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く】→【R6 85】 デジタル教材を活用した朝学習を週 3 回実施する。</p> <p>② 時間外勤務上限基準（45 時間以下）の達成率を 96%以上にする。→【R6 95】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>③研究授業・検討会、教員研修会やメンター研修会を開催し、専門的な知識・技能を習得することを目指す。</p> <p>④地域との交流会（年 3 回以上）の実施、学校ホームページの充実、オープンスクールなどを通して開かれた学校づくりを推し進める。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>一人一台端末を利用して、朝学習にデジタル教材「NAVIMA」を活用し、主体的に取り組む。</p> <hr/> <p>指標 朝の学習に週 3 回以上取り組み、自学自習の習慣を意識づける。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>時間外勤務の少ない職場環境をつくる。</p> <hr/> <p>指標 時間外勤務上限基準（45 時間以下）の達成率を 96%以上にする。→【R6 95】</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>全員授業、研究授業・検討会を行ったり、メンター研修会を開催したりして専門的な知識・技能を習得することに取り組む。</p> <hr/> <p>指標 校内で実施される各種の研修を、年 7 回以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協同した教育の推進】</p> <p>地域関係諸機関との連携や学校ホームページの充実、オープンスクールを通して、開かれた学校づくりを推し進める。</p>	

指標 地域との交流会を年 3 回以上実施し、学校ホームページを各学年週に 1 回以上アップする。 全体のアップ数は 500 回以上を目指す。→【R6 1251 回】	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	